

13010 児童教育演習 I p Pupil Education Seminar I			3 年次～ 通年 4 単位
担当者	原口 なおみ	履修可能学科	Pe 必
		関 連 資 格	
サブタイトル	おはなしと絵本の研究		
授業内容 ・ ねらい	ストーリーテリングの理論を学び、おはなしを覚えて語る。テキストの講読によって理論を学ぶと同時に、絵本・お話を朗読して耳から作品を味わい、覚えるおはなしを選ぶ。一年間で二話以上を覚え、自分のものにして語る。詩や絵本・わらべうたと組み合わせでお話会のプログラムを立て発表する。学外でのお話会に聞き手として参加し、おはなしを聞く耳を育てる。		
授業計画	1. 毎回授業の全半20分程度は、担当者を決めてお話会の形式で行う。プログラムの立て方を学び、教材を研究する。 2. 毎月1回は覚えて語るお話会を行う。語るに向く話、自分に合うお話を探すために、たくさんのお話を読む。 3. 一学期に一回程度、テキストの輪読・レジュメ作りの読書会を持つ。 4. 古典的な絵本の紹介（ブックトーク）をして、レポートを書く。 5. 講読テキストの内容は、 ・前期 なぜ、覚えるか？どのように、覚えるか？ ・夏休み 作家研究 中川季枝子・松岡享子 ・後期 語るに向くテキストをえらび、子どもの本を選択する目を養う		
教科書 参考書	教）松岡享子著『楽しいお話シリーズ3「選ぶこと」・4「覚えること」』（東京子ども図書館刊行）各500円程度、 『えほんのせかい こどものせかい』（日本エディタースクール出版部）		
評価方法	平常点 : 授業への誠実な参加（上手に語るのではなく、自分にあったお話を探し、自分のものにする努力）および、授業内容をポイントを抑えて記録できるか（毎回授業記録を提出する）を評価する。 レポート：担当したおはなし会のレポート年間1通、ブックレポート年間3通、学外のお話会に参加したレポート年間2通		
事前準備学習 履修条件等	児童文化 I（原口担当）を履修済み、あるいは同時履修することが望ましい。		